

サプライチェーンマネジメント

調達の基本原則とパートナーシップ構築宣言

J-POWERは、ビジネスパートナーやサプライヤーを含めたサプライチェーン全体で持続可能な社会に貢献していきたいと考えています。そのため、調達にあたっては「調達の基本原則」を定め、「公開性」「公平性」「経済合理性」「長期的な相互信頼」「法令の遵守」「人権の尊重・労働安全衛生の確保」の六つの原則に基づいて行動し、当社ウェブサイトでも公開しています。また、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を目指し、2022年3月に「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。

調達の基本原則

https://www.jpowers.co.jp/company_info/procurement/principle.html

パートナーシップ構築宣言

https://www.jpowers.co.jp/company_info/procurement/partnership.html

調達の基本原則

1 | 公開性

弊社は、経済的で質の良い物品を調達するため、日本国内の企業だけでなく、広く海外の企業に対しても門戸を開いています。弊社は、意欲ある新たな取引先の参加を常に歓迎いたします。

2 | 公平性

弊社は、取引先の選定にあたっては、製品の品質、価格、信頼性、納期の確実性、互換性、企業の技術的能力、経営状態、アフターサービス、環境への配慮などに基づき、公正に選定します。

3 | 経済合理性

弊社は、「より優れた製品をより経済的な価格で」という経済合理性に基づいて物品の調達を行います。

4 | 長期的な相互信頼

弊社は、売買契約締結後のアフターサービスが取引の重要要素のひとつであると考えており、取引先との長期的な信頼関係を培っていきたくと願っています。

5 | 法令の遵守

弊社は、取引先の方々と弊社の双方が、取引を行うにあたって関係法規ならびにその精神を遵守することが重要であると考えています。

6 | 人権の尊重・労働安全衛生の確保

弊社は、「J-POWERグループ人権基本方針」の精神に則り、サプライチェーンを含む全てのステークホルダーの人権を尊重する責任を果たしてまいります。

また、公衆及び関係者の安全を最優先に、取引先と弊社は互いに責務を全うしつつ、協力して安全衛生への意識を高め、労働災害防止と働きやすい環境の確保に努めます。

J-POWERグループでは、適正な調達業務遂行のため、社内で「調達の基本原則」の周知を実施するとともに、資材担当者向けに研修を実施しています。また、当社グループでは、公正で開かれた取引を実施すべく、取引を希望される皆様に調達情報や調達手続きをウェブサイト上で公表するとともに、調達手続きに関する相談窓口を設置しています。

資料調達情報 https://www.jpowers.co.jp/company_info/procurement/

サプライチェーン全体での人権の尊重

「J-POWERグループ人権基本方針」で定める通り、すべてのステークホルダーに対して、人権尊重の取り組みを推進しています。2025年4月より主要なビジネスパートナーやサプライヤーに対して、「人権尊重に向けた取り組みに関するお願い」文書を送付する取り組みをはじめ、本方針支持の働きかけを強化しています。また、当社グループの取引先従業員も利用が可能な機密・匿名を担保したコンプライアンス相談窓口を設置しています。

[P.74 人権尊重の取り組み](#)

Topics

国内外のバイオマス燃料調達先とのエンゲージメント

当社グループでは、石炭火力発電所におけるバイオマス混焼を通じてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。バイオマス燃料の持続的かつ安定的な調達に向けて、日本国内では未利用資源である林地残材を活用した木質燃料などサステナブルなバイオマス燃料の製造事業にも取り組んでいます。

その一例として、2011年に宮崎県小林市において未利用林地残材を原料とする木質ペレット製造会社である宮崎ウッドペレット(株)(当社出資比率98.3%)を設立し、製造から当社石炭火力発電所での混焼利用までを一貫体制で実施しています。

海外からの調達についても、第三者による認証・認定を活用し、持続可能性が担保されていることを調達の都度証明書類により確認しています。

さらに、これら国内外のサプライヤーに対しては毎年視察を実施し、工場や従業員の安全衛生、森林の維持状況、地域とのコミュニケーションなどについて定期的にヒアリングや意見交換を行っています。



間伐材の状況視察(宮崎県)



木質ペレット工場(ベトナム)の視察